



産業副産物を活用した肥料資材、土壌改良手法の開発

技術分野分類 7101：植物栄養学・土壌学

技術キーワード (5)肥料、(8)土壌化学、(12)土壌肥沃度

産業分類 E 製造業

内 形	概 要	農用地における施肥コストの低減を図るため、肥料、土壌改良材に有効な成分を含有する産業副産物の活用を研究。																
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	産業副産物を対象として、既存の化学肥料の代替資材の探索、および適切な施用方法の検討を行い、産業副産物の有効活用、および施肥コストの低減を目指している。 これまでに、産業副産物由来の燃焼灰、石膏資材等を対象に、肥料資材としての検討試験を進めてきた。																
	本技術の有用性	・ 産業副産物の有効活用に伴う廃棄コスト、施肥コストの低減が期待できる。 ・ 過去の事例では、燃焼灰の添加により化学肥料並の大麦成長効果を確認。																
関連情報 （図・表・写真等）		<table><thead><tr><th>処理</th><th>根 収量 (g)</th><th>茎葉 収量 (g)</th><th>穂 収量 (g)</th></tr></thead><tbody><tr><td>灰添加</td><td>1.3</td><td>2.2</td><td>1.7</td></tr><tr><td>化学肥料</td><td>1.4</td><td>2.8</td><td>2.1</td></tr><tr><td>K 添加なし</td><td>0.4</td><td>1.3</td><td>0.5</td></tr></tbody></table>	処理	根 収量 (g)	茎葉 収量 (g)	穂 収量 (g)	灰添加	1.3	2.2	1.7	化学肥料	1.4	2.8	2.1	K 添加なし	0.4	1.3	0.5
処理	根 収量 (g)	茎葉 収量 (g)	穂 収量 (g)															
灰添加	1.3	2.2	1.7															
化学肥料	1.4	2.8	2.1															
K 添加なし	0.4	1.3	0.5															
適用可能製品		土壌改良資材、肥料																
技術 シーズ 保有者	氏名 所属・役職	墨 泰孝 応用生物学部 応用生物化学科 助教																
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	中部大学 研究支援部 学術企画課 0568-51-4852（直通）／0568-51-4859 sakangaku@office.chubu.ac.jp																

■知的財産

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2025 年 1 月 24 日